

第 16 回大阪大学野田村サテライトセミナー 「野田村に生きる ―野田村民の語る現状と未来への道筋―」

2014 年 6 月 11 日、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムのもと開設された「大阪大学野田村サテライト」にて、「第 16 回大阪大学野田村サテライトセミナー」を開催しました。今回は、震災から 3 年 3 か月が経った今だからこそ語れることを野田村で暮らす方々にお話しいただくというテーマでセミナーを行いました。講師には、野田村で暮らしている水上直人さんと小野紀之さんを迎え、水上さんには震災ガイドでの経験を、小野さんにはしいたけ農家として日頃感じていることを率直にお話しいただきました。

今回のセミナーには、15 名が参加してくださいました。また、今回も、遠隔教育システムを使用して、大阪大学吹田キャンパスと大阪大学豊中キャンパスをつなぎ、三地点同時中継でセミナーを行いました。

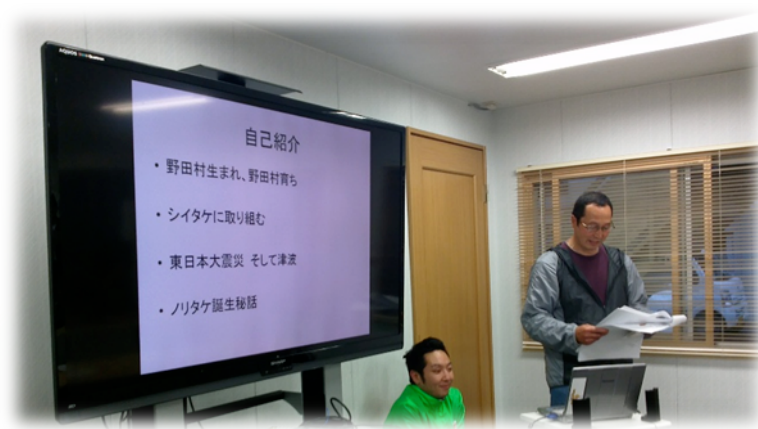
セミナーはまず、水上さんの講演から始まりました。水上さんは、震災後、震災ガイドとして働くも、発災時に県内にいなかったことを負い目に感じ、本当に自分が震災ガイドをやっているのかどうか迷ったそうです。しかし、同級生の方から「そんなに難しいことを考えてないで、やりたいことやりなよ」と言われて、覚悟が決まったとおっしゃっていました。ただ、震災から三年が経過して、がれきやごみ処理施設などの「分かりやすい」ガイドポイントの減少や、ガイドの人数の減少など問題点が顕現してきているとの印象を報告されました。それを解決するために、現地の人のガイドをこれから増やしていくべきだと提言されました。水上さんの講演を聞いて、大阪大学豊中キャンパスにいる学生からガイドブックとの兼ね合いをどうすべきかなどの意見が飛び交っていました。



講師の水上さん

次に、小野さんの講演に移りました。小野さんは津波によって家もしいたけを栽培する

ビニールハウスも流されてしまい、ゼロからのスタートをきることになったことから話を始められました。しかし、美味しい肉厚なしいたけを作り続けたいという一心で、しいたけ栽培を再開されたそうです。講演では、しいたけが出荷されるまでを写真を見ながら説明し、しいたけや粉末しいたけを使った料理レシピ、また、実際に購入した兵庫県西宮市の方からのメッセージや新潟県刈羽村の方々からのビデオメッセージも報告されました。最後に、これからは顔の見える人とやりとりしながらしいたけを広めていきたいという夢を話してくださいました。会場からの「しいたけはどこで購入できますか」という質問に対して、農協に卸しているため小野さん自身も把握し切れていないという流通の問題も含みつつ、今後は購入方法についてもわかりやすくしていきたいと決意を述べられました。



講師の小野さん

大阪大学では、事前に粉末しいたけを用意し、中華まんやかぶの浅漬け、お吸い物に粉末しいたけを入れることでより美味しくいただけるという実演を行っていました。大阪大学で参加した学生や教員の方々も、小野さんの美味しいしいたけに舌鼓を打っていました。

第16回大阪大学野田村サテライトセミナー「野田村に生きる ―野田村民の語る現状と未来への道筋―」も盛況にうちに無事終了しました。次回セミナーは、7月11日に同じく野田村サテライトで行う予定です。